

第84期

# 中間株主通信

平成24年4月1日から  
平成24年9月30日まで

株式会社 日阪製作所



**「より高く より広く より深く」技術で挑戦しています**

伝熱・調理・滅菌・殺菌・着色・制御など、保有する数々の技術力で、ステンレス鋼・チタニウムなどの素材を用い「衣・食・住・医・エネルギー」に貢献し「高品位な商品」を国内外に発信しています。

HISAKA WORKS,LTD.

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社第84期（平成25年3月期）の中間決算をいたしましたので、ここに中間期の事業の概況をご報告申しあげます。

敬具

## 事業の概況

### 1. 経営成績

#### 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした回復の兆しがみられるものの、長期化する円高、欧州債務危機の長期化、さらには欧米景気の減速に加え、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、グローバル化の推進や復興需要を見据えた内需関連産業への営業強化を行いました。長期化する円高や設備投資関連の減速によって、主力の熱交換器事業での受注は期初計画を下回る結果となったものの、生活産業機器事業及びバルブ事業では堅調に推移したことにより、受注高は11,831百万円（前年同期比104.7%）となりました。売上高は、短納期品の積上げが想定より進まなかったことや一部納期ずれがあったことにより10,795百万円（同95.8%）となりました。利益については、調達の見直しなどのコスト削減やメンテナンス事業を強化いたしましたが、売上の減少及び一部不採算アイテムがあったことにより営業利益は829百万円（同77.0%）、経常利益は1,028百万円（同80.1%）となりました。四半期純利益につきましては、前年同期に計上した工場跡地売却による固定資産売却益の影響もあり、672百万円（同56.3%）となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

#### 〈セグメント別概況〉

##### 『熱交換器事業』

当事業では、「エネルギーと環境」「ソリューション営業」をキーワードに市場開拓を強化したことにより、アフターマーケットの「まるごとぱっく」は受注を伸ばすことができましたが、海外大型プラントの受注案件が少なかったことや、マクロ経済の影響を受けた国内設備投資関連が足踏みとなったことから短納期品を積み上げることができず、売上高は5,119百万円（前年同期比80.2%）となりました。利益については、売上減少による減益分をコスト削減やメンテナンス事業でカバーすることができ、セグメント利益は637百万円（同67.3%）となりました。

##### 『生活産業機器事業』

当事業では、受注については、染色仕上機器が新興国の経済成長鈍化の影響をまともに受け計画に対して大幅未達とな

りましたが、食品機器のレトルト調理殺菌機の拡大や、近年強化しているプラントエンジニアリング案件が数件決定したこと、また医薬機器で前期から継続していた大口案件が決定したことから計画を達成することができました。売上については、前年同期に対しては増収となりましたが、納期が第3四半期以降に延びたアイテムもあり、売上高は3,633百万円（前年同期比112.7%）と期初計画に達しませんでした。利益については、売上が未達であったことや低採算案件があったことによりセグメント利益は114百万円（同155.0%）となりました。

### 『バルブ事業』

当事業では、国内設備投資関連が足踏みする中、ニッチ市場をターゲットとした顧客志向の問題解決を目指し、新製品開発や用途限定バルブの販売に注力し、市場創造を行いましたことにより、ほぼ計画どおりに推進することができました。

以上の結果、売上高1,808百万円（前年同期比107.4%）、セグメント利益130百万円（同110.7%）となりました。

### 『その他事業』

当事業は、国内子会社であるマイクロゼロ株式会社の事業及び海外子会社であるHISAKAWORKS S.E.A. SDN.BHD、日阪（上海）商貿有限公司、HISAKAWORKS SINGAPORE PTE. LTD.及び日阪（常熟）機械科技有限公司の事業であります。

マイクロゼロ株式会社の事業では、当社食品機器事業と共同で営業強化を図り、乳飲料の大口プラントエンジニアリング案件を受注したことや、サニタリーバルブの短納期品を積み上げるなど堅調に推移いたしましたが、事業拡大のための人員を確保したことにより、固定費が増加しコスト増となりました。また海外子会社では、営業拠点の拡大や新工場建設など積極的な事業展開を図りましたが、新興国の経済成長鈍化や円高の影響もあり、厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、その他事業では、売上高934百万円（前年同期比358.6%）、セグメント損失24百万円（前年同期は52百万円の損失）となりました。

## 2. 通期の見通し

平成25年3月期の通期予想は、売上高23,000百万円、営業利益1,900百万円、経常利益2,150百万円、当期純利益1,330百万円の見込であります。

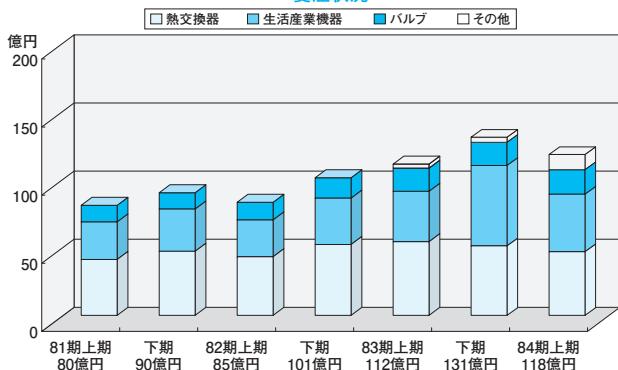
株主の皆さまには何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

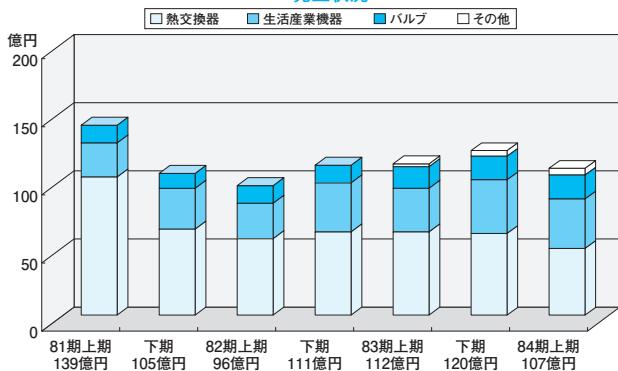
代表取締役社長 前田 雄一

## 業績の推移

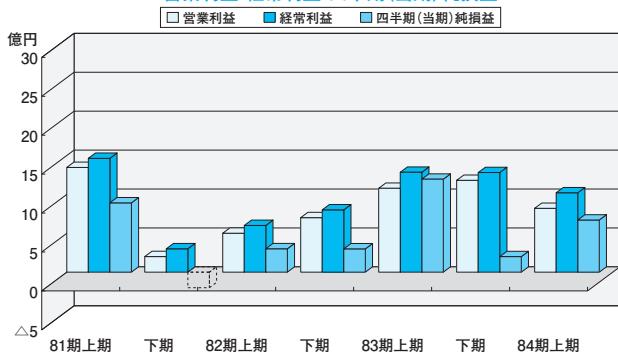
### 受注状況



### 売上状況



### 営業利益・経常利益・四半期(当期)純損益



※金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

## 第2四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
	金額	金額	金額	
売上高		11,272,867	10,795,913	23,368,391
売上原価		8,710,301	8,366,544	18,017,884
売上総利益		2,562,565	2,429,369	5,350,507
販売費及び一般管理費		1,484,643	1,599,691	3,087,642
営業利益		1,077,921	829,678	2,262,865
営業外収益		218,571	212,715	312,287
営業外費用		12,932	14,297	6,399
経常利益		1,283,561	1,028,096	2,568,753
特別利益		1,607,422	3,351	1,607,422
固定資産売却益		1,607,422	—	1,607,422
抱合せ株式消滅差益		—	3,351	—
特別損失		842,384	24,908	1,338,482
固定資産除却損		8,615	—	8,879
有価証券評価損		832,854	—	1,218,643
関係会社出資金評価損		—	—	89,044
建物解体撤去費用		—	—	21,000
震災関連費用		913	—	913
70周年記念行事費用		—	24,908	—
税金等調整前四半期(当期)純利益		2,048,599	1,006,539	2,837,693
法人税、住民税及び事業税		1,169,590	119,895	1,664,290
法人税等調整額		△313,068	214,328	△221,988
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益		1,192,078	672,316	1,395,392
少数株主損失		△2,542	△308	△167
四半期(当期)純利益		1,194,620	672,624	1,395,559

## 第2四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成24年3月31日現在)	期 別 科 目	前第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成24年3月31日現在)
	金 額	金 額	金 額		金 額	金 額	金 額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	23,247,335	23,886,561	22,968,924	流動負債	8,462,282	7,885,550	8,657,596
現金及び預金	7,890,704	8,329,804	7,695,116	支払手形及び買掛金	5,993,966	5,532,597	5,866,274
受取手形及び売掛金	8,870,355	8,288,182	8,828,597	未払法人税等	1,255,240	162,941	1,570,302
商品及び製品	1,621,641	1,845,568	1,819,870	繰延税金負債	—	451	—
仕掛品	1,433,159	1,966,631	844,910	製品保証引当金	58,750	69,031	71,831
原材料及び貯蔵品	1,305,925	1,555,439	1,640,996	賞与引当金	444,700	435,251	451,700
繰延税金資産	1,167,029	884,626	1,056,457	その他	709,625	1,685,277	697,488
その他	968,518	1,026,308	1,092,975	固定負債	507,176	432,987	560,997
貸倒引当金	△10,000	△10,000	△10,000	退職給付引当金	427,217	394,490	488,645
固定資産	27,821,783	25,706,246	27,862,045	その他	79,958	38,497	72,351
有形固定資産	12,285,095	12,604,243	11,764,013	負債合計	8,969,459	8,318,538	9,218,593
建物	8,664,251	8,338,572	8,341,698	(純資産の部)			
機械及び装置	2,117,495	2,153,844	1,962,552	株主資本	40,586,323	40,388,330	39,954,091
その他	1,503,348	2,111,826	1,459,763	資本金	4,150,000	4,150,000	4,150,000
無形固定資産	69,156	145,889	53,083	資本剰余金	8,814,450	8,814,450	8,814,450
ソフトウエア	67,855	59,624	53,083	利益剰余金	27,872,336	28,216,197	27,781,019
その他	1,301	86,264	—	自己株式	△250,463	△792,316	△791,378
投資その他の資産	15,467,531	12,956,113	16,044,947	その他の包括利益累計額	1,508,158	878,694	1,650,732
投資有価証券	13,391,537	11,494,760	14,433,485	その他有価証券評価差額金	1,508,158	931,333	1,655,502
長期貸付金	—	640,000	1,140,000	繰延ヘッジ損益	—	△4,064	△4,769
繰延税金資産	31,591	521,826	174,939	為替換算調整勘定	—	△48,574	—
その他	2,680,408	923,900	921,628	少数株主持分	5,176	7,244	7,552
貸倒引当金	△636,006	△624,374	△625,105	純資産合計	42,099,659	41,274,269	41,612,376
資産合計	51,069,118	49,592,808	50,830,969	負債純資産合計	51,069,118	49,592,808	50,830,969

## 役員

(平成24年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	前田雄一
	常務取締役	川西謙三
	常務取締役	寺田正三
	常務取締役	小西康司
	取締役	中崎薫
監査役	取締役	中村淳一
	取締役	中尾卓
	常勤監査役	山田卓夫
	監査役	田中等
	監査役	平意達雄

## 会計監査人

太陽ASG有限責任監査法人

## 株式の状況

(平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	129,020,000株
発行済株式の総数	32,732,800株 (自己株式 863,849株)
株主数	3,634名

### 所有者別株式分布状況

区分	株主数(名)	株式数(千株)	持株比率(%)
政府・公共機関	—	—	—
金融機関	34	9,400	28.72
金融商品取引業者	40	496	1.52
その他の法人	154	9,332	28.51
外国法人等	108	4,298	13.13
個人・その他	3,297	8,340	25.48
自己名義株式	1	863	2.64
合計	3,634	32,732	100.00

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日新製鋼株式会社	3,003千株	9.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,673千株	5.11%
日本生命保険相互会社	1,156千株	3.53%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,064千株	3.25%
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ノーザン トラスト ガンジー アイリッシュ クライアーツ	959千株	2.92%
株式会社みずほ銀行	912千株	2.78%
株式会社三菱東京UFJ銀行	912千株	2.78%
因幡電機産業株式会社	910千株	2.78%
野村信託銀行株式会社(投信口)	700千株	2.13%
ジュニパー	671千株	2.04%

(注) 自己株式863,849株は大株主からは除外しております。

## 当社の代表的製品

### ■プレート式熱交換器



プレート式熱交換器(PHE)は、「高効率」「省エネ」「省スペース」「メンテナンス性」の4拍子揃った理想の熱交換器です。ステンレス鋼やチタニウムなどの薄板に波形パターンをプレス加工して伝熱プレートとし、これにシール用ガスケットを装着し、必要枚数を重ねて締め付け、プレートの凹凸により各プレートの間にてきた隙間を流路として利用する熱交換器です。化学・食品・空調・電力など、あらゆる産業分野で使用されています。

### ■ブレイジングプレート式熱交換器



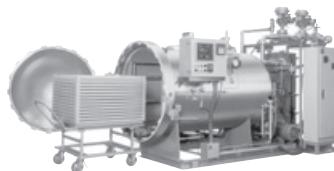
ブレイジングプレート式熱交換器(BHE)は従来のガスケットタイプのプレート式熱交換器の高い経済性と高性能をそのまま受け継ぎ、ブレイジングテクノロジーとの融合により、さらに軽量・コンパクト・堅牢・経済性を実現した熱交換器です。アンモニアやフロンなどの法的規制のある流体にも対応できます。

### ■Duax ボールバルブ



ボール回転時、ボールシートとボールが摺動しない画期的なボールバルブです。ボールとボールシートが摺動しないため、従来のボールバルブと比較し、作動トルクが軽く、摺動による傷や摩耗が発生しません。摩耗性の激しい粉粒体の輸送、粉体、スラリーを含む流体を高頻度で開閉されるような過酷な条件下での長寿命化を実現しています。

### ■レトルト殺菌装置



レトルト殺菌装置は、熱水スプレー式・熱水貯湯式・蒸気式の3タイプです。食品の種類・容器形状・生産量や自動化対応など、さまざまな条件に最適なシステムをご提案します。均一な槽内温度分布と再現性が高いことから、医薬品・医療機器の滅菌装置としても高く評価されています。

### ■液体連続滅菌装置



高粘度・固形物含有薬品の連続殺菌、無菌充填に適合。伝熱の元素にはチューブ、プレート、コルゲートを採用。真空ホールディングチューブなど、処理液の品質を守る高度なシステムです。また、この技術は飲料、乳飲料、調味料、アルコール類など幅広い液の殺菌に利用されています。

### ■液流染色機



世界を染めた液流染色機サーキュラー「Circular」。時代のニーズによって常に成長し続ける世界の名機は今も健在です。衣料以外の産業資材(カーシート・インテリア・医療品)分野でも活躍しています。「Circular」の開発は低浴比による省エネルギー、省資源に加え、加工品位の安定化、それによる生産性向上を主体として、これまでに多様な機種を提供しています。

## 会社の概要

(平成24年9月30日現在)

社名	株式会社 日阪製作所
英文社名	HISAKA WORKS, LTD.
会社設立	昭和17年5月5日
代表者	代表取締役社長 前田 雄一
資本金	41億5,000万円
発行済株式総数	32,732,800株
株主数	3,634名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結528名 単体458名

## 主要な営業所及び工場

- ① 当社
- |       |                               |                 |
|-------|-------------------------------|-----------------|
| 本社    | 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4丁目2番14号   | 電話(06)6201-3531 |
| 東京支店  | 〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目11番2号    | 電話(03)5250-0750 |
| 鴻池事業所 | 〒578-0973 大阪府東大阪市東鴻池町2丁目1番48号 | 電話(072)966-9600 |
- ② 主要な子会社
- |                              |          |
|------------------------------|----------|
| マイクロゼロ株式会社                   | (東京都立川市) |
| HISAKAWORKS S.E.A. SDN. BHD. | (マレーシア)  |
| 日阪(上海)商貿有限公司                 | (中国)     |
| 日阪(常熟)機械科技有限公司               | (中国)     |

## 主たる事業

ステンレス及びその他の特殊材料を主材料として、機械加工、製缶、溶接、塑性加工などの高度な製造技術と、伝熱(加熱・冷却)、流体制御、蒸発・凝縮、調理・殺菌・滅菌、染色・含浸、電気制御、その他の蓄積した保有技術を駆使し、あらゆる産業の設備・施設に使用される各種のプレート式熱交換器、繊維工業で使用される各種の染色仕上装置、食品工業で使用される各種の調理・殺菌装置、蒸発・濃縮装置、医薬・医療工業で使用される各種の滅菌装置・造水装置、及び産業用の各種ボールバルブ、その他の開発・製造販売、並びに各機器及び装置のシステムエンジニアリング

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
	期末配当金 3月31日	特別口座の口座管理機関	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
公告方法	中間配当金 9月30日	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
	(その他必要あるときはあらかじめ公告いたします。)	上場証券取引所	東京・大阪証券取引所
公告方法	電子公告：当社ホームページ	ホームページアドレス	市場第1部
	<a href="http://www.hisaka.co.jp/denshi">http://www.hisaka.co.jp/denshi</a> (但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。)	(URL)	証券コード 6247
			<a href="http://www.hisaka.co.jp">http://www.hisaka.co.jp</a>

### (ご注意)

- 株主さまの住所変更、单元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。